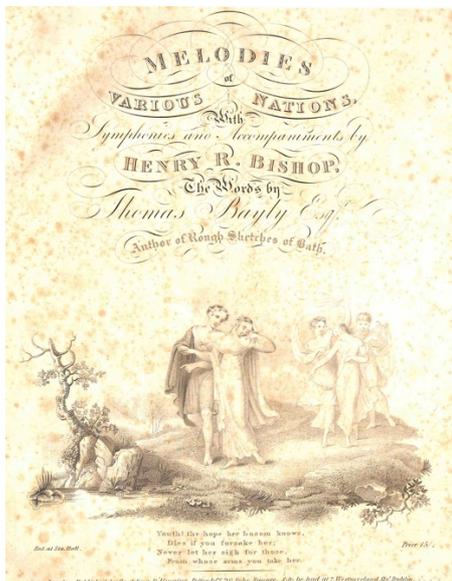




上記展覧会開催により南葵音楽文庫を知る基本の基本 6 オークション は 8月24日に変更しました

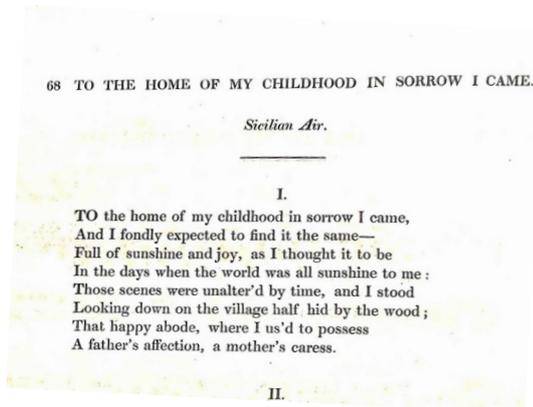
南葵音楽文庫
和歌山県立図書館内
和歌山市西高松 1-7-38
tel. 073-436-9500



H.ビショップ(1786-1855) 『諸国の歌』
ゲールディング社、ロンドン、1823年

ロンドンの劇場で活躍していたビショップが作曲した歌集。このなかに「シチリアの歌」として発表した”To the Home of my Childhood”を、彼は自作オペラ《ミラノの乙女クラーク》に”Home Sweet Home”という題名で挿入した。この歌は1850年代にアメリカで広まり、日本では1889(明治22)年12月発行の『中等唱歌集』に採用、それ以来《植生の宿》という題名で親しまれている。(154字 博物館展示のキャプション)

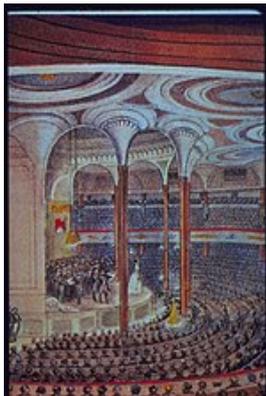
- ① ロンドン 1823年 独唱のほか重唱も用意されたピアノ伴奏付き 「シチリアの歌」と付記、作詞 Thomas Bayly、作曲者の肖像、重唱用の学部冒頭



- ② ロンドン 1823年5月8日初演(コヴェント・ガーデン) オペラ《ミラノの乙女クラーク》 台本は John Howard Payne(1791-1852) 歌詞 Be it ever so humble, there's no place like home
⇒ Home Sweet Home! ペインのクレジットは楽譜にみあたらない
- ③ アメリカ 1850年 ハンナ・マリア・リンド Johanna Maria Lind、通称ジェニー・リンド (「スウェーデンのナイチゲール」180-1887)のロンドンでの引退(1849年5月10日) パーナムの招きでアメリカツアー に(慈善事業目的)



アンスピラトリスとして



NYのキャッスルガーデン



NYで出版された楽譜

1845頃

④ アメリカ 南北戦争(1861-1865)における人気

リンカーン大統領 1862年ホワイトハウスで Home Sweet Home ! を聞く 歌ったのはアデリーナ・パッティ (1843-1919、1859 オペラ・デビュー 最後の演奏はロンドンのロイヤル・アルバート・ホールの赤十字慈善コンサート 1914年10月)

⑤ 日本 1889(明治22)年12月『中等唱歌集』《埴生の宿》

⑥ 日本 1947-48年『ビルマの豎琴』発表(竹山道雄 1903-1984)

⑦ シドニー 1990年 《ユグノー教徒》上演後のアンコール

ジョーン・サザーランド(Joan Sutherland, 1926- 2010、シドニー郊外出身)

⑧ 作曲者ビショップの晩年

敵味方をこえる音楽

世界をめぐる歌 その歌が Home Sweet Home ! という名前を与えられる前の姿を展示している
旧蔵者カミングスの驚きも書き込まれて。

「南英音楽文庫の至宝」展…

① 美術の展示と資料の展示のちがい

② キャプションの可能性と限界

データ、インフォメーションとして

教養として

コミュニケーションの起動のため

字数のしばり 上記の ⑤から⑧は言及せず

吹き出しなどのくふう

耳からつたえるのは

AR(拡張現実)の利用

③ ミュージアム・トークの有用

This complete set of 4 sets is probably unique - it is interesting because a page of the 1st Vol is the tune composed by Bishop, and called by him, a "Tivolian Air" - and afterwards adapted to the Japanese words "Home sweet home" in the Opera "Flora"

旧蔵者カミングスの書き込み